

‘18(平成30)年4月5日



# 4月 釜小だより

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



## 温かい風と潤いの水と

学校長 岡野 真由美

春のうらかな日差しをいっぱいを受け、野も山も花の色となりました。

そしてまた、希望に満ちた新しい春が巡ってきました。4月を待たずに咲き始めた校庭の桜は、早くも吹雪となって青空に舞い、子どもたちの入学や進級を華やかに祝ってくれているかのようです。

本日、58名の新入生を迎え、全校児童423名で平成30年度がスタートいたしました。新一年生のご入学と、在校生の皆さんの進級を心よりお祝い申し上げます。

特に一年生の保護者の方々にとっては待ちに待った小学校入学ではなかったかと思います。真新しいランドセルを背負って元気に通い、一日も早く釜利谷小学校に慣れ、たくさんの仲間と楽しい学校生活を送ってくれることを願っています。

さて、この時期、釜利谷のまちを歩きながらふと目をやると、タンポポ、オオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、ヒメオドリコソウなどのたくさんの草花がそれぞれの場所でそれぞれにふさわしい形で自分の美しさを主張している姿を見つけることができます。寒く厳しい冬には地面の中に身を潜ませていた草花たちが、春の温かい風や潤いの水を受け、今、まさしくそれぞれにたくましく生を育み始めているようです。どの花も愛らしく、どの花も生き生きと伸びようとしています。これらさまざまな草花の姿から、私は無限の善さや可能性を花開かせる子どもたちの姿を連想します。異なる個性がさまざまに花開く子ども一人ひとりの姿に重なるからです。

学校では、私たち教職員が温かい風や潤いの水となって、子どもたちはその子らしい個々の芽を伸ばし、花を咲かせ、実をつけてくれます。温かい風を吹き込み、潤いの水で満たすその営みこそが、私たちの教育活動であるといえるのではないかと考えます。

今日から、平成30年度への第一歩を踏み出します。新しい指導要領の移行期間にあたる時期を迎え、英語教育や道徳が教科の一つとなったり、新しい学習内容が組み込まれてきたりして、教育現場は転換期を迎えています。釜利谷小学校の学校教育目標「たのしい わたしの学校」をつくりあげる過程に新しい教育活動を取り入れ、変わらず大切にしたいことがらも忘れることなく、日々の実践に励んでいきたいと考えています。そして、145周年を迎える今年度も、私たち教職員と保護者の皆さま・地域の方々との協力・協働を進めつつ、子どもたちの善さや無限の可能性が花開く姿をめざして、日々の教育活動に精一杯努めていきます。